

## 誘電体分科インフォーマルミーティング議事録

2014年3月28日（金）東海大学湘南キャンパス AM 会場

参加人数 31名（米永副代表がオブザーバーとして参加）

### 1. 領域 10 全体に関わる報告

#### 1. 次年度の領域代表、副代表体制について

新井現代表に代わり、米永現副代表が代表になり、領域副代表として電気通信大学の阿部浩二副学長が就任されることを承認

#### 2. 領域 10 の新たなキーワードについて

前回の分科のインフォーマルミーティングにおいて「構造物性」が一旦は、承認されたが、その後の領域委員会ではそれほど強くキーワード化が求められなかったため、領域 10 としては従来通りの各分科の羅列を選択した。なお、領域名変更は学会発表申し込み際のキーワードの変更もセットで行う方が望ましい。「構造物性」には従来の分科では選択できない内容の講演申し込みがあるはずである。プログラム編集会議での煩雑な作業を避けられるような工夫とキーワードが必要である。

### 2. 次次期運営委員の選出

誘電体分科のメーリングリストを通じて、自薦、他薦を募ったところ、筑波大学の小島教授より、他薦があった。ほかに候補者がいなかったため、他薦のあった、筑波大学、森龍也氏を次次期運営委員の候補者として、インフォーマルミーティングに諮ったところ、承認が得られた。

### 3. 国際会議等の報告

昨年誘電体夏の学校について、岡山大学、池田直氏より報告があった。

### 4. 国際会議等の予定

#### 1. 第 10 回日韓強誘電体会議

広島大学、黒岩芳弘教授より、2014年8月17日より20日まで広島で開催される第10回日韓強誘電体会議について説明があった。

#### 2. 誘電体若手夏の学校

日韓強誘電体会議のサテライトミーティングとして開催される誘電体若手夏の学校に関して岡山大学、池田直教授より説明があった。講演申し込みが日韓強誘電体会議の登録サイトからも行えることが黒岩教授よりあった。

## 2. 日露強誘電体会議

2014年9月29日から10月2日までラトビアのリガで開催される、**Joint International Symposium RCBJSF – 2014 - FM&NT September 29 – October 2, 2014 Riga, Latvia** に関して島根大学、秋重幸邦教授より説明があった。

## 5. 次回大会でのシンポジウム、招待講演等の提案

次回、秋季大会で開催される学会において、シンポジウム提案することを確認。

1. 太陽電池などを含む、酸化物材料のエネルギー利用に関してシンポジウム提案を検討している。
2. 今年度は、国際結晶学年(結晶学 100 周年)のため、領域 10 として、何か記念の講演を行うべきではないか。

[文責 米田安宏 (原子力機構) ]